

RCHR 第6回シネマde人権

話題提供: 中野 冬美

(大阪市立大学 共生社会研究会)

ドキュメンタリー映画上映会

『何を怖れる』

フェミニズムを

生きた女たち』

(監督 松井久子)

無料

7月20日(土)

午後1:30~5:00

文化交流センター

大セミナー室

(大阪駅前第二ビル6階)

共催 大阪市立大学 人権問題研究センター
大阪市立大学 共生社会研究会

『何を怖れる フェミニズムを生きた女たち』(監督:松井久子)は、70年代初頭のウーマンリブ運動から約半世紀、女性の意識変革と地位向上の為に、女性の運動を牽引してきたフェミニストの人生の記録です。フェミニズムの第一世代として、批判や攻撃をものともせず、最前線を走り続けた女性12人。

田中美津、米津知子、滝石典子、上野千鶴子、井上輝子、樋口恵子、加納実紀代、池田恵理子、高里鈴代、田中喜美子、中西豊子、桜井陽子。

人権が踏みにじられているように思えてならない今、女性の闘いの意味と重要性を考えたいと思います。

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp